

皆さん、初めまして。高瀬美智子の「み・ち・し・る・べ」が始まります。



緑のふるさと協力隊員・高瀬美智子の奮闘記 1

み・ち・し・る・べ

こんにちは。緑のふるさと協力隊17期生の高瀬美智子です。わたしは今年の春まで東京の大学に通い、就職活動をしていました。しかし「新しい土地に、たった1人で飛び込んでみたい。そのチャンスは今しかない」と思い立ち、1年間休学して協力隊に参加本町にやってきました。

わたしが生まれ育った群馬県みどり市東町は、山に囲まれた田舎町。この町と似ていますが、でもここは山がとて高く、川が大きく感じます。雨上がりの山にかかる霧がともきれい。それが見られるなら、雨もいかなって思えるくらいです。

新茶時期の茶園の美しさにびっくり。「もえぎ色」という言葉を初めて実感しました。最近お茶をよく飲みます。甘いお茶というものに初めて出会い、そのおいしさに驚かされました。

こちらに来てもう2カ月。最近ほ主に、町の行事への参加や農林業センターでの農作業などに励んでいます。農作業はほとんど経験がなく、初めてのことがたくさん。戸惑いながらも楽しんでいきます。土に触れるのはいいもの

だなあとあらためて感じます。虫たちにもたくさん出会うんですけれどもね…。

一番茶の時期は田野口の茶工場で受付のお手伝い。お茶摘みとお茶刈りも初体験したんですよ！根気と体力のいる作業ですよ。生葉も予想以上に重くて…。それを背負ってくるおじいちゃん、おばあちゃんの笑顔とパワーにとても驚きました。

休日にかの周りを散歩していると、皆さん必ずあいさつしてくれます。これが普通なのかもしれないけれど、東京ではあり得ないこと。忘れかけていた「心」を思い出させてくれる気がします。

ここまでの2カ月はあっという間でした。来年の3月もあつという間にやってくる気がします。できるだけたくさんのお茶を経験したいし、たくさんの人に出会いたい。そんな気持ちで活動をしていきたいと思っています。

おじいちゃんおばあちゃんに日々癒されています。優しい雰囲気とマイペースなところが大好き！道を歩いていても、車で走っていても、見かけるたびにキュンキュンしちゃいます。

高瀬美智子 群馬県みどり市出身・緑のふるさと協力隊員第17期生
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に1年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美智子さんは、本町4代目の隊員。「おじいちゃん、おばあちゃんが大好きなんです」と朗らかに笑う21歳。

